

**発行**  
 生活協同組合  
 ヘルスコープおおさか  
 いまざと診・森歯地区

# ひがしなり

|                  |            |
|------------------|------------|
| いまざと診療所          | ☎6971-8054 |
| ゆおびか             | ☎6971-8270 |
| 生協森の宮歯科          | ☎6975-0841 |
| いまざとヘルパーステーション   | ☎4259-4400 |
| コープデイサービスふらわあ    | ☎4259-4411 |
| いまざとコープケアプランセンター | ☎6977-5153 |
| まねきねこ            | ☎6976-7277 |



## 地域のつながり大切に お元気ですか訪問 まっさかり

今年も「お元気ですか訪問」の季節がやってきました。75歳以上の高齢組合員の皆さんを対象に、職員と組合員とで訪問させていただいています。「いまざと診療所です」または「森の宮歯科から来ました」と玄関で声をかけると、留守でない限りほとんどの方が出てきてくださり対話してもらえます。

「〇〇さん最近亡くなった。〇〇さんも」と会話の中でお互いの持つ情報・会話の中で3人もの知っている人の名前が出てきました。



今、私たちの周りでは近所に住んでいながら、なかなか情報が伝わりにくくなっています。高齢化社会にむかって介護保険制度ができました。高い保険料を納めていまます。しかし、実態は充実どころか後退し続けています。憲法13条「個人の尊重」や25条の「生存権」がますます危うくなってきています。

私たち医療生協は医療・介護・健康づくりを通じて地域の方々と一緒になって社会保障の充実を要求し、真に高齢者が希望を持って生き続けることのできる、街づくりに貢献したいと考えています。その活動の一つがこの「お元気ですか訪問」です。職員・組合員が訪問した節にはよろしくお願ひします。

### 介護保険 またもや改悪

#### 希望の持てる未来へ声をあげよう

5月26日、介護保険関連法は衆院で強行採決、参院ではたった16時間の審議で自民・公明・維新の賛成で成立しました。一定所得以上の人の介護保険利用料を現在の2割から3割負担へ引き上げ、介護療養病床を廃止し6年後に新設する「介護医療院」への移行、「自立支援」推奨の名のもとに優遇措置をつけ「卒業」という名のサービスマッチ切り、要介護認定の「門前払い」、給費適正化(給付抑制)で目標を達成できなかつた市町村に対して交付金を減額するなど、介護保険法の理念「自立支援」から見れば全く逆行する内容になっています。

#### ◆消費税はどこへ行った？

本当にお金がないのでしょうか？国は「年金・医療・介護など社会保障を少子化対策のためとして1989年に消費税(3%)を導入しました。今では8%ととなり税収も3.3兆円から17.2兆円にもなったのに、医療・介護・年金・子どもの施策はよくなったでしょうか。入院すれば食事代がある介護では2000年まで全て国が負担していたのに保険料を徴収、年金は削減、待機児は増える一方、消費税はどこにいったのでしょうか？

#### ◆進む特養の重度化

介護についていえば、2015年から大きく変わりました。総合事業がスタート、要支援1・2のヘルパー！

デイサービスの保険外し、わずかな研修を受けた資格のない人たちに介護を担わせる「生活支援」、特養入所は原則要介護3以上、入所できても手厚い介護で歩けるようになれば「卒業」という名で退所。施設ではバリアーが少ないため自立できず、家庭に戻れば介護度が上がる。このようなか中で特養の重度化が進められています。それは介護報酬の加算が新規入所の7割以上を介護度4・5にすれば手厚い加算がつくので、経営のために、待機者リストから選ばれるのは90代で「悪くなる一方」と思われる人です。80代は若すぎ、70代はあり得ないといわれています。

#### ◆介護・医療は国の責任で

国は「自立・互助・共助」や「我がこと丸ごと」とうな地域住民の「見守り」や生活支援活動への参加をうながしています。しかし、本来住民の活動は「住民自治」の形の形であり福祉の公的責任や医療の保障が果たされてこそ生かされるものです。介護保険の後退の補完や代替では、決してありません。

#### ◆あいまいな要介護認定

要介護認定の在り方も問題点があります。特に認知症の場合は的確に測れない「元気がない」状態は「要介護1・2になる」要介護4・5の寝たきりに比べ手がかる場合が多い。認定と現実のずれは要介護認定の基礎となる「介護の費用」のデータは施設で計算された理想的な介護のパターンを示すために作られたものであり、在宅のデータは元々入っていません。このように認定自体あいまいなのに、要介護度だけで区切ることで自分がかしいのではないのでしょうか？

このような国の姿勢・制度に、これはおかしい声をあげようではありませんか。

